

【樹木の部屋】

キャラボク(イチイ科イチイ属 *Taxus cuspidata* var. *nana*)

和名：キャラボク(伽羅木) **別名**：キャラ(伽羅) **英名**：Dwarf japanese yew

イチイ目 常緑針葉低木 **原産地**：日本

花言葉：風格、哀しみ、慰め、高尚 **花色**：



← 写真-1 キャラボクの鉢植え(玉散し樹形)

撮影日：2016年6月4日

撮影場所：パリ(フランス)郊外の

ホテルにて

撮影者：M さん

↓ 写真-2 キャラボクの玉作り樹形

撮影日：2021年4月25日

撮影場所：桜井市内にて

撮影者：M さん



← 写真-3 キャラボクの新芽

撮影日：2021年4月25日

撮影場所：桜井市内にて

撮影者：M さん



キャラボクはイチイの変種で、両者は良く似ています。材に微かな香りがあり、それがインドの香木「伽羅」に似ていることからキャラボクと名付けられたそうです。

雌雄別株で雄花は淡黄色。雌花には緑色の鱗片に包まれた胚珠が1個あり種子は直径3~4mmの球形で、花のあと肥大し、杯状になった仮種皮に包まれます。秋に種

子が熟す頃には仮種皮は紅色になり仮種皮は甘くて食べられるようですが種子は有毒なので要注意です。

葉は薄い線形で、緑色の枝に螺旋状に密につきます。葉先は尖っていますが触っても痛みは感じません。葉の表面は濃い緑色で、裏面は黄緑色の気孔帯が2状あるので黄緑色をしています。

→ 写真- 4 キャラボクの新枝
撮影日：2021年4月25日
撮影場所：桜井市内にて
撮影者：M さん



イチイに比べて暑さや日陰に強いなど丈夫で育てやすい樹です。半日陰程度なら陰になった枝が枯れるようなことはほとんどないそうです。また、苗木には新芽がよく発生しますが、成長が遅い樹木で、放置すると株立ち状に育ち、横に広がろうとします。枝分かれも多いため、樹形が乱れやすい樹木です。また、根が太くて浅いため、移植はやや難しい樹木です。

キャラボクには、庭に植えると家族の疫病を取り除いてくれるという言い伝えがあり、以前は庭にキャラボクを植える人は多かったようですが、この言い伝えが少しずつ忘れさられた現代では、キャラボクを庭に植える人は減ったそうです。

<ちょっと一言>

*キャラボクとイチイの見分け方

- ・キャラボクの葉は螺旋状に発生します。

イチイは二列に水平に並びます。(ただし枝先にある葉は螺旋状になります)

- ・キャラボクは放置すると樹形がクネクネと乱れます。

イチイはスッキリと端正な姿を保ちます。

*鳥取県大山の山頂部にはキャラボクの大群落があり、「ダイセンキャラボク」として国指定の天然記念物に指定され、独立の種とされていましたが、現在は母種の変異の範囲内とされているそうです。

*葉が黄色い「オウゴンキャラボク＝金伽羅」にも人気があるそうです。